



日本共産党市議団は、マイナンバー関連の補正予算案や母子世帯の自立に向けた生活支援施設・しらぎく荘の廃止の条例改定など議案3件（裏面一覧表参照）に反対。火葬有料化など市民負担増計画の見直しや、新MICE施設整備事業では、札幌ドームなど「既存の施設資源」の活用を提案しました。

人や環境にやさしい地域交通を

新たな公共交通
まちづくりと一体に

GX 関連の脱炭素化
具体的計画は不透明

市電延伸検討の約束守れ

中央区内の市民団体が市電の料金値上げに抗議、延伸検討を求めて市に要望書を提出。同席した小形かおり議員は、運賃値上げによる利用者減少のスパイラルに陥り、交通崩壊を招きかねないと指摘しました。

水素活用の検証を

調査特別委員会では、太田秀子議員が、水素燃料電池車両導入の費用、税負担、影響についての検証が欠かせないと論戦。水素導入のコストと市電を延伸した場合の初期費用を比較検討するよう求めました。

バス補助金 交付前倒しを

調査特別委員会で長屋いずみ議員は、バス事業者の経営を下支えする補助金の算定・交付時期を、年末としている北海道に合わせることを提案。水素は、化石燃料との価格差に課題があることも明らかにしました。

池田ゆみ議員は、札幌市がGX（脱炭素化）産業の集積を図るとされる金融・資産運用特区について、税制優遇による減収分の補てんを国に求めるよう要望。化石燃料発電の具体的な削減計画がないと追及しました。

市民の願いは存続と拡充

敬老パス
問 題

市民の意思反映を

代表質問で吉岡弘子議員は、現行の敬老パス制度の廃止につながる「敬老健康パス」導入に反対の声が多いと紹介。「市民の意見を重視し、反映させる考えがあるのか」と質問し、市民不在の市政転換を迫りました。

現行制度存続を前提に

敬老パスの存続・拡充を求める陳情が審査されました。さとう綾議員は、現行の敬老パスの「経済波及効果や社会効果」の検証と、「敬老パスを存続させたいうえで、健康寿命延伸の取り組み」を求めました。



敬老パス署名決起集会で太田議員が市政報告

どうする? 札幌ドーム

立て直しに市民意見反映を 田中議員

（株）札幌ドームの23年度決算は、北海道日本ハムファイターズの本拠地移転後の売上額落ち込みで、約6.5億円の赤字。市は当面の黒字化は困難と判断、プロ野球中心の「ドーム球場」から「真の全天候型多目的施設」という将来像を打ち出しました。

田中啓介議員は7月の経済観光委員会で、将来像は「市民が加わって考えていくことが大事」と第三者機関の設置も含めた検討の考えについて質問。市スポーツ部長は、「運営や企画を検討する場合に、地域の皆様や若者などにも参加していただく機会を設ける」と答弁しました。



